

田倉川と暮らしの会・活動をふり返る

- 1989年5月 伊藤喜右エ門ら12名「大平会」立ち上げ、アカタンにベースキャンプ(山小屋)の建設始める。
- 1998年7月 「草創」宅良地域の住民は、田倉川流域の歴史や風俗と深い結びつきをもって生きている。この会は田倉川の魅力や資源を発掘し、川づくり流域づくりを考え体験し、心豊かに自然と共生する人間社会を求め、新しい価値観の創造を目指していきたい。「大平会」を改称し「田倉川と暮らしの会」が誕生。記憶の収集、記憶画の制作、明治の石積砂防えん堤の調査、山村民俗調査など活動が始まる。
- 1999年7月 「タイム&リバーアドベンチャー」残雪ネイチャープログラム 未発見の1・2・5号堰堤探しに沢を探検する。ベースキャンプで炉端座談会「先人達は、どのような情念と感性で砂防えん堤を造り上げたのか」
- 2000年1月 ラジオ大阪発行「紀行近畿川ものがたり」に「田倉川赤谷の砂防堰堤を探る・明治期に造らた幻の石組堰堤を求めて」掲載される。
- 2000年4月 「川に学ぶリバートレッキング&フィールドセッション」炉端交流、ベースキャンプで舎営
- 2000年7月 福井高専生徒による赤谷川堰堤のGPS測量実習 電子基準点測定
- 2000年7月 「アカタンから先人達の川と暮らしを探る」川と暮らしの新発見フィールドワーク、炉端フォーラム、フィールド検証、実感発表と課題討議」
- 2000年9月 「川に学ぶシンポジウム in 近畿」活動発表 京都府八幡市
- 2000年10月 「アカタン砂防100周年記念穂高砂防実習バスツアー」京大防災研究所穂高観測所と神通川上流砂防施設、中尾温泉まほろばで炉端ミニフォーラム、奥飛騨砂防博物館、常願寺川立山カルデラ砂防博物館、砂防ミュージアムづくり意見交換と交流会
- 2001年2月 「川と人とのいい関係・フォーラム in 日野川ーサクラマスの駅伝ー先人達の川と暮らしに学びサクラマス」に、田倉川と暮らしの会活動報告と課題提供「ー川のまるごとフィールド学校ー面谷啓(住民語り部)
- 2001年3月 河川文化13号に「明治の砂防遺構が九つも連なるアカタン・フィールドミュージアム」投稿掲載
- 2001年5月 砂防学会発表「歴史的砂防施設をコアとした住民参加によるフィールドミュージアムづくり」山口市
- 2001年5月 「アカタンまるごとミュージアム・活動の記録」冊子発行 河川環境管理財団の助成 75頁 200部
- 2001年6月 土砂災害防止月間「川の駅フォーラム」開催、立山カルデラ砂防博物館、京大防災研究所穂高観測所
- 2002年2月 砂防と治水144号「住民と都市住民交流連携の社会実験「明治の砂防堰堤群まるごとミュージアムづくり」投稿掲載
- 2002年5月 「川づくり・まちづくり講習会 in 日野川」講師 武生土木・リバーフロント整備センター・国土交通省福井国道河川事務所、交流会「川人の青春」
- 2002年6月 「第20回土砂災害防止推進の集い国土交通大臣から土砂災害防止功労者表彰される。岐阜市
- 2002年6月 第50回全国治水砂防協会福井県支部総会で「アカタン砂防堰堤を活かした住民活動について」講演
- 2002年8月 国土交通省「キャンプ砂防」アカタン砂防堰堤調査と地域交流会、堰堤案内、住民との交流会
- 2003年2月 「川と人とのいい関係・フォーラム in 日野川」住民参加と川づくり」田倉川と暮らしの会活動報告と「源流住民として思うこと」を発表した。
- 2003年2月 21世紀の水環境づくり国際会議実行委員会(福井・滋賀・岐阜・三重) 水環境づくり四県共同会議ポスターセッションに「アカタン・ミュージアムづくり」と「源流住民として思うこと」発表
- 2003年6月 文化庁3号堰堤まで現地調査に入る。
- 2003年6月 土砂災害防止月間「アカタンまるごとミュージアムー住民の暮らしと砂防展ー」「トーク&ウォーク」

- 2003年10月 新潟県新井市西野谷会館にて「アカタンの魅力づくりとその活動」講演 主催：新潟県新井砂防事務所、砂防文化財(万内川砂防文化財)を活かす地区懇談会
- 2003年11月 文化庁3号から源流堰まで調査に入る。
- 2003年11月 「日本遺跡学会2003年度大会」に報告論文発表「福井県今庄町における明治の砂防堰堤群を活用した住民主導によるフィールドミュージアムづくり」奈良文化財研究所平城宮跡資料館
- 2004年4月 「残雪恋しアカタン砂防トレッキング」登録有形文化財登録後の利活用について
- 2004年5月 アカタン砂防登録有形文化財登録答申・記者発表、アカタン砂防が全国ネットに登場。
- 2004年6月 土砂災害防止月間「砂防フィールド・ミュージアムを考えるシンポジウム」新潟県万内川砂防公園・京都府不動川砂防公園・立山カルデラ砂防博物館、穂高砂防観測所、月間中歴史的砂防施設特別展
- 2004年6月 福井県第1期「川の初級指導者育成講座」自然体験活動推進協議会(CONE)と連携したカリキュラムを採用。RACが認定する川の指導者は、CONEの制度に対応し登録が可能
- 2005年5月 「宅良の歴史」(上集落分)権八賞発表 宅良の里の歴史、宅良村名の由来、上温谷と正保なだれ、お薬師様、慈眼寺、伝説豆殻の臼、伝説龍神の池、杉谷、杣木俣、水戸の浪士、瀬戸の名の起こり、伊藤氏の庭園、瀬戸の二十三夜、高倉峠、芋ヶ平、伝説蓮如の岩屋(参考文献：今庄町史ほか)
- 2005年6月 土砂災害防止月間特別展「残雪恋しアカタン砂防写真展—プロカメラマンが観るアカタンの魅力—」たくら谷山人たちの「手仕事の美」山人ギャラリー「古木家」オープン、福井豪雨パネルと映像展示
- 2005年6月 第7回(2005年)日本水大賞奨励賞、総裁の秋篠宮殿下前で授賞、賞金10万円、東京国際連合大学
- 2005年8月 「全国川に学ぶ体験活動北陸大会 in 日野川流域」 主会場：アカタン砂防フィールドミュージアム、分科会にアカタン砂防発表、交流会「川人の共感」、全体会、見学会
- 2006年8月 「砂防遺跡見学会」高倉谷砂防堰堤3ヶ所の歴史的石積み砂防堰堤群を見学する。高倉谷西高倉谷1号砂防堰堤で、岩石に刻まれた碑を瀬戸の伊藤武男氏発見報告。明治35年度、主任大屋卯吉郎、助手野坂宇助、工夫中村、石工田中、田中など読みとれる。
- 2006年4月 「アカタン砂防歴史資産活用促進検討会」発足、官民連携による砂防施設の整備と管理事業が始まる。
- 2006年5月～10月 地元住民、日野川流域交流会と一緒に草刈りしながら、大河内川石積砂防えん堤調査、大鶴目谷川石積砂防えん堤調査、大谷川タキガ谷石積砂防えん堤調査、広野砂防ニオダン石積砂防えん堤調査と草刈り整備、各砂防ハイク開催
- 2006年9月 「環境保全活動団体との実践体験と交流応用講座」開催 山村住民が、歴史、文化、暮らしのあり方の環境に気づき、自分たちの生まれ育った土地に誇りを持っていく「住民自身・人間中心のエコミュージアム」をめざす活動を実践している当会と交流し、活動資源の新たな視点の発見と、エコミュージアム活動について共に考えた。
- 2008年6月 土砂災害防止月間 砂防文化を語る会「巨石積み砂防文化の歴史と登録文化財 岐阜と今庄山地砂防の交流」源流山村の砂防堰堤の価値観、山村文化と都市感覚、岐阜県砂防と砂防ボランティア交流
- 2009年3月 砂防・地すべり防止講義「砂防事業と地域活性化—歴史的砂防施設アカタン砂防からの報告—」講演
- 2010年10月 砂防パークイベント「アカタン砂防ハイク・高倉谷川砂防ハイク」山村水源集落の住民と都市住民の愉快的な交流会
- 2010年11月 全国治水砂防協会「中山間地の防災を考える～砂防と地域活性化～」 「—砂防文化が刺激を起こす—日本初の砂防エコミュージアムをつくった水源集落」講演
- 2012年6月 田倉川と暮らしの会 15周年記念「アカタン砂防交流会」エコミュージアム出前講座、交流、砂防ハイク